

PIONEERS SUPPORT (深五中生支援)

深五中・地域学校協働本部

地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を行います。

第9回地域学校協働活動 11/17 (木) 15:45~18:00

ESAT-J 面接練習の報告 Thank you for your cooperation.

- 参加者 3年生 30名 (申込者 40名)
- 支援者 地域指導員・ボランティア: 5名 コーディネーター: 3名
- 面接練習の内容
 - 1回目 Part A~Dの体験と全体的なアドバイス (Part A・Bは1問ずつ)
 - 2・3回目 Part B~Dを解答の後1問ずつアドバイス (Part Bは1問のみ)
- 生徒の感想

A 1回目	練習してきたけれど全然話せなくてとても難しいと感じた。次は接続語に気をつけたい。
2回目	1回目よりもできた。リラックスして自分の作れる英文を的確に話せるようにしようと思う。
3回目	1・2回目の失敗を活かして出し切ることができたと思う。
全体	練習のおかげで少し慣れることができたので本番で出し切れれると思う。
B	ESAT-Jの試験内容について分からなかったことが多かったけれど少しだけ不安をなくすことができた。
C 1回目	英文を読むことや簡単な問題に答えることはできたが、自分の考えを伝えるのは難しかった。
2回目	短い文でいいから自分の知っている範囲の単語で話すことに気をつけようと思った。
3回目	あせると間違えてしまうので問題をよく聞いて判断することを大切にしたい。
全体	もっと表現の仕方を増やしたい。頭で難しく考えようとしすぎるので柔軟にしようと思った。
D	質問の意味が分からなかったが少し話せるようになり、コツをつかめて少しずつ上達してきた。
E 1回目	どのようにやるのかわからず不安だったが、思ったよりも問われている内容がわかった。
2回目	接続語が難しいのでたくさんレパートリーを増やしたいと思った。
3回目	今回は接続語ができたものの場面と単語が頭の中で結びづらくなってしまっていた。
全体	どのようなものか知らなかったので知れてよかった。頑張っって何度も練習しようと思う。
F	中1の英語でもよいからいかにつまらずスラスラと話せるかが鍵を握っていると感じた。
G 1回目	スピーキングテストのだいたいの問題の流れがわかってよかった。
2回目	複数形のときのbe動詞など意外と注意することがあってたいへんだった。
3回目	1回目に比べると大分どんなことを話せばよいのかが分かり、スラスラ話せるようになった。
全体	細かくポイントを教えてくださったのでそこを意識すれば何となく話せるようになった。
H	考えたことを話すだけではなくて常に次の文を考えておくのがよいと思った。
I 1回目	クセのある問題でたいへんだった。パッと英語にする能力が求められると思う。
2回目	しゃべるとなると難しいが答を聞くと簡単だった。頭を柔らかくして取り組むようにする。
3回目	言いたいことを日本語で考えてそれをより簡単な英語でシンプルに言い換えるのが大切だ。
全体	このテストでは習った英語をどこまで使えるかだと思った。練習によって力がつくと思う。
J	発音には自信があったし、よいと言ってくれたのでさらに自信がもてた。本番頑張る。
K 1回目	Part Aは読めたが、英語で単語の意味が理解できなくて止まってしまった。
2回目	1回目よりできるようになった。少しでも英語をしゃべるのがよいことを学んだ。
3回目	3回練習したらある程度はできるようになった。過去形を理解しようと思った。
全体	今日練習することができて本番が少し楽になった気がする。
L	難しく答えようとせずに思ったままに言うことが大切だと感じた。簡単に答えることを意識したい。

地域学校協働本部 [地域全体で子どもの学びを支え、学校を核として連携・協働して行う活動を推進する体制です]

主任コーディネーター: 笹田雅子

コーディネーター: 西垣誠 池田かおり 岡本俊之 森田外茂子